

# 塗料 ベトナム人実習生を グローバル戦略人材に

これまで外国人実習制  
度は国際貢献か、人手不  
足解消かの2言論で議論  
されてきた。一方、工業  
塗装の分野で外国人労働

者を自社のグローバル戦  
略に欠かせない人材とし  
て雇用するケースも見ら  
れる。

「ワーカーとして雇用  
したのではない」と、ベ  
トナム進出に伴い、ベト

ナム人実習生を採用し  
たヤブタ塗料（神奈川県  
小田原市）、藪田直秀社  
長は語る。

同社は平成8年に中国  
上海に工業塗装の会社を  
設立、順調に売り上げを  
伸ばしてきた。次に狙う  
のはベトナム。ダイカス

ト製品を扱う取引先のベ  
トナム進出に伴い、ベト

に好きなように塗っても  
らった。縁取りをして塗  
る者、単色しか使わない  
者等、仕上がり感が様々  
だという。面接方法が功  
を奏したのか、採用した  
ベトナム人実習生は器用  
かつ前向きで、仕事も速  
いという。

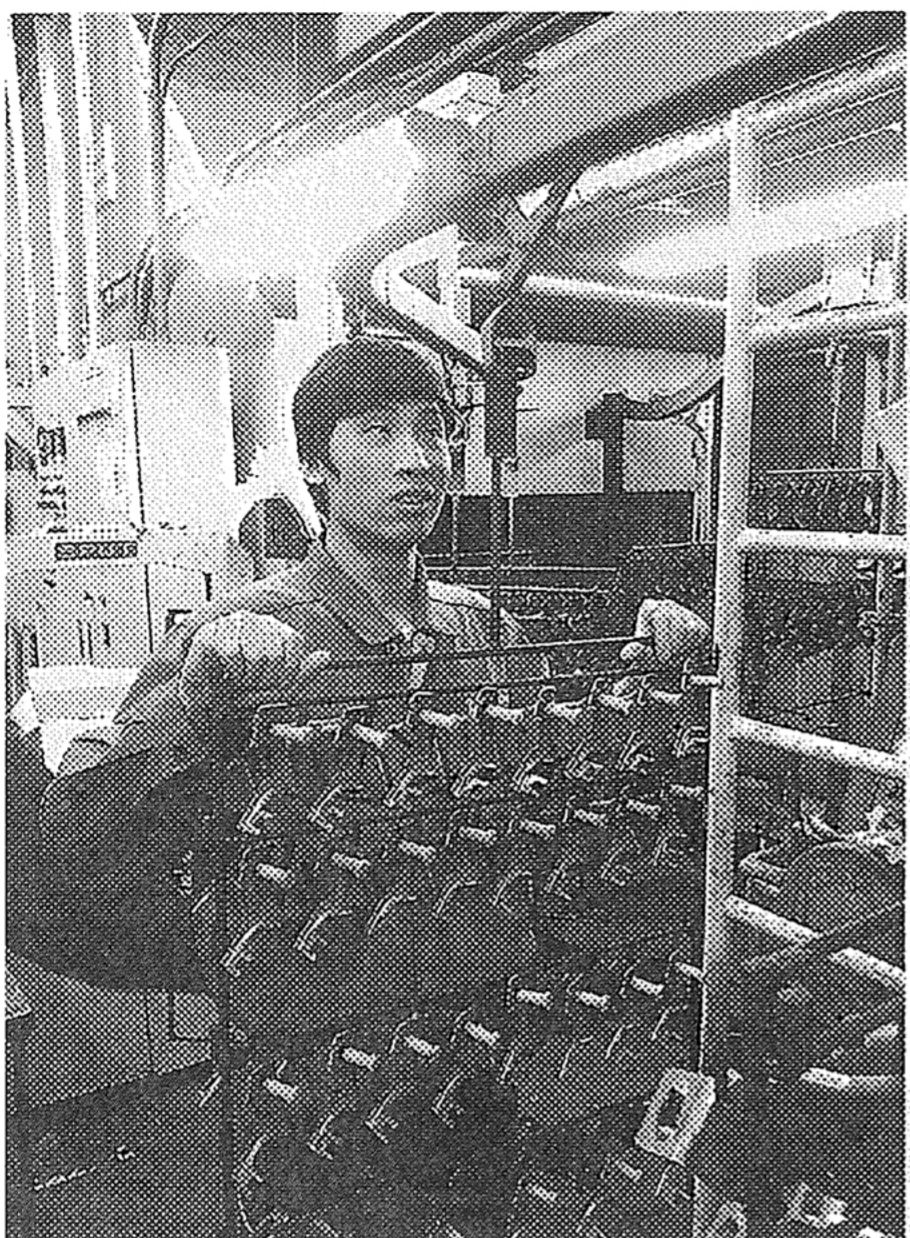
塗装の教育は、各塗装  
関連の書籍から必要など  
ころだけ集め翻訳し、同  
社オリジナルのテキスト  
で座学研修を実施。今回  
の研修では、中国人、イ  
ンドネシア人と、入社が  
決まっていた日本人の高  
校生と合同で1日6時間  
の研修を3日間行い、理  
論を学ばせた。既に現場  
に出てからの研修のた  
め、理解度が高かったと  
いう。

工場では実習を受け、1年  
以上が経つ。同工場には  
中国人2人の短期研修  
生、インドネシア出身の  
従業員も2人働いてお  
り、国際色豊かだ。

ベトナム人を採用する

にあたり、現地で実施し  
た面接方法がユニークで  
ある。一般的な面接のほ  
か、日本から塗り絵と色  
鉛筆を持ち込み、志願者

藪田社長は「外国人実  
習生には品質会議にも参  
加させている。彼らを工  
場長レベルまで早く成長  
させたい」と話した。



沼津工場で研修中のベトナム人実習生